



南越前町 議会だより

2017.7

Vol.20



行列のできるそばまつり会場

Contents

- ② 6月議会定例会
- ② 総務文協常任委員会報告
- ③ 産建厚生常任委員会報告
- ④ 補正予算の主な内容
- ⑤-⑦ 一般質問(南康夫、平谷弘子、山本優)
- ⑧-⑩ 主な議会活動報告
- ⑩ 議会定例会の流れ
- ⑪ 広域組合の紹介「公立丹南病院組合」
- ⑫ 表紙説明(今庄そばまつりの紹介)
- ⑫ 編集後記



発行：南越前町議会 発行責任者：議長 生駒 一義
編集：議会広報特別委員会
〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道29-1
TEL (0778) 47-8004 FAX (0778) 47-3033
<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/>

6月定例会

今期定例会は、6月12日から16日までの会期で開催され、町税条例の一部改正、専決処分承認など5議案及び、平成29年度補正予算、条例の一部改正、町農業委員の任命など24議案を上程しました。12日の本会議で、専決処分の5議案を承認し、一般会計補正予算や条例の一部改正等13議案を関係する各常任委員会に付託しました。また、午後から一般質問が行われ、町政について3人が町長の考えをいただきました。

13日には総務文教常任委員会、14日には産建厚生常任委員会をそれぞれ開催し、議案を審議しました。最終日の16日には採決が行われ、14議案を原案のとおり可決しました。

また、任期満了に伴う、町農業委員会委員10名の任命についても全会一致で同意しました。



本会議の様子

常任委員会報告

総務文教常任委員会

(6月13日 開催)

総務文教常任委員会に付託された一般会計補正予算のほか、条例の一部改正についてなど、4議案について、慎重に審査を行い、原

案のとおり可決しました。審議の過程で行われた、質疑内容と指摘した事項を報告します。

主な質疑事項

問 集会所を改築するようだが、年次計画は立てているのか、また、建築規模はどうして決めるのか。

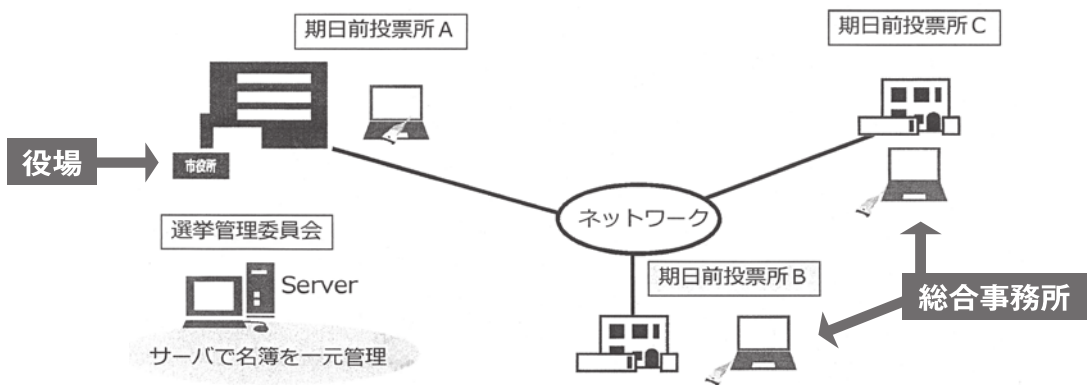
答 町内の集会所は、概ね築50年は経過していると把握している。今後、毎年1ヶ所程度、新築または、改修が必要だと思う。集会場整備は、耐用年数と世帯や人口を基に基準単価や規模を要綱で定めている。

問 各総合事務所は、今後どのようにしていくのか。

答 現時点では方向性が定まっていないが、今後検討を進めていく。

問 期日前・不在者投票管理システムの稼働の時期は、いつごろか。

答 町内の投票所ならば、いずれの投票所でも期日前投票ができるシステムで、早ければ年明けから稼働できる予定。



期日前・不在者投票システム (イメージ)

問 ふるさと納税の返礼品を30%以下にする予定は。これを守らないとペナルティはあるのか。

答 本町も自治体連合に加盟しているの中で検討している。30%以上は、県内で7市町ある。総務省の通達では、現時点ではペナルティはない。

指摘事項

1 固定資産の未評価疑義家屋が多くあるようだが、税負担の公平性を考慮し、速やかに公正かつ適正な評価を実施し、課税されたい。

回答

速やかに評価業務を実施し、公正かつ適正な課税を行います。

2 学校教育環境検討事業を実施する場合は、子どもたちのことを考えると共に、地域住民の意見を充分に取り入れながら、慎重に多面的かつ適切に実施されたい。

回答

児童生徒のことを第一に考え、地域の実情、課題等を整理し慎重に対応していきます。

産建厚生常任委員会

(6月14日 開催)

産建厚生常任委員会に付託された一般会計補正予算のほか、条例の一部改正についてなど10議案について、慎重に審査を行い、原案のとおり可決しました。

審議の過程で行われた、質疑内容と指摘した事項を報告します。

主な質疑事項

問 サイクリングマップを作成するようだが、設置場所及びターミナルという名称との関係はどうするのか。

答 町内を全てカバーするマップなので、主な観光施設に置く予定です。サイクリングターミナルという名称は、サイクリングの拠点を想像させるので、今後施設名称を変更する際は、十分に検討する。

問 北前船関連の新商品開発は、どのように行っていくのか。

答 企画から商品化まで一貫して管理実施してくれるところを探

している。

問 花はす温泉「そまやま」の改修については、その場しのぎの改修になっていないか。

答 十分に指定管理者と協議しながら無駄にならないように実施する。

問 国保制度が平成30年から改正になり、県も事務の一部を分担することとなるようだが、町の事務量は軽減されるのか。

答 現状とほぼ変わらない見込み。

問 保険税は、県内で統一されるのか。

答 各市町の国保加入者や医療費等に差があるので、現在と同様に各市町で賦課徴収する。

問 町内の2つのこども園の連携を密にし、入園や親子が利用しやすい環境づくりをどのように推進していくのか。

答 今後、条例等の改正を含め、協議・検討していきたい。
問 町独自の保育料の軽減はある



花はす温泉そまやま

のか。

答 特にない。国の指針に基づいて実施している。それ以外の町単独の子育て支援策は多方面で行っている。

問 「はす」の生産者が減少してきているが、存続に対する対策は。

答 高齢化してきているので、後継者育成や担い手支援策に力を入れていきたい。

指摘事項

1 河野地区に地域住民が利用できる多目的スペース等を備えた「コンビニエンスストア」一体型施設の建設を計画しているようだが、周辺景観や観光振興に配慮した施設となるよう検討されたい。

回答

景観に十分配慮したものにするとともに、土産や特産品コーナー等の販売施設など配慮し、観光振興に資するものにします。

②

南条サービスエリア地域振興施設整備計画について、全体像がまとまり次第、速やかに町民に周知されたい。

回答

国、県、町、ネクスコ中日本による準備検討会で協議をしている。今後は、公募型プロポーザルによる提案や商工団体等地域の意見を集約し、出来るだけ早い時期に町民に周知するように努めます。

補正予算の内容

一般会計で約九億七千万を予算化

本年の2月に任期満了に伴う町長選挙があり、今年度の当初予算を経常的経費（人件費等）と一般管理費（事務・施設管理費）を中心とした、必要最小限の予算（骨格予算）としてありましたので、

今回の補正予算において新町長のマニフェストや南越前町が抱えている喫緊の課題解決と地域活性化に資するため



に政策的事業や新規事業を中心とした予算配分（肉付予算）となりました。

主な補正予算の内容

- ・新今庄住民センター整備事業
- ・事業費 1,830,000千円
- ・集会場建設事業（阿久和集会場）
- ・事業費 57,707千円
- ・防災拠点Wi-Fi環境整備事業（役場庁舎、河野総合事務所他に公衆無線LANの整備）
- ・事業費 10,000千円
- ・南越前町観光連盟設立事業
- ・事業費 3,000千円

河野北前船主通り魅力向上ブランド発信事業

（新商品開発業務）

事業費 3,648千円

（観光ガイド育成業務）

事業費 2,256千円

河野地区コンビニエンスストア一体型施設整備事業

事業費 1,230,699千円

山海里集落支援事業補助金

事業費 3,000千円

糠漁港防波堤高上げ工事

事業費 30,000千円

集落要望対応

事業費 13,257千円

南条サービスエリア地域振興施設整備事業

事業費 115,021千円

新ゴミ処理施設搬入路整備事業

事業費 40,090千円

町分譲住宅団地用地購入事業

事業費 38,414千円

河野地区単身者向け町営住宅整備事業

事業費 17,995千円

定住に向けた住宅新築促進事業補助金（町内に新築し居住する

者上限50万円）

事業費 5,000千円

若い世代の定住に向けた住宅促進支援事業補助金

（町分譲地売買価格の40歳未満は2割、30歳未満は4割補助）

事業費 10,618千円



建設中の新築住宅

住宅政策故郷企業活性化奨励事業補助金

（町内に新築し居住する者が町内の事業者を活用した場合上限30万円）

事業費 2,400千円

中学校空調整備事業

事業費 38,887千円

一般質問



南 康夫

一、山林の地境調査について

問 先人の守ってきた山林も、近年は過疎化や少子高齢化に伴い、山林の地境を知らない世代が増加し、土地所有者が都市部に移転するなど、このままでは森林が荒廃し、境界が確定できなくなるのではと懸念される。

答 そのための境界の調査を早急に実施する必要があると考えるが、調査の進捗や課題、今後の対応についてどのように考えているのか伺いたい。

町長 本町の森林面積は、町全体の面積の91・5%、またそのうち民有林の面積は森林面積の79・4%を

占めている。森林は木材をはじめ、多くの林産物の生産、土砂災害の防止、水源の滋養、保健休養の場の提供、多様な生物の保全など多くの機能を有しており、私たちの生活と深くかかわっている。

このように多くの

優れた機能を持つ地域資源である山林に、若者がほとんど行くことがなく、自分の山林の境界や場所が分からないというのが現状であり、今のうちに子供達や孫達に山林の境界を分かるようにしておくことが必要なことである。境界調査については、GPS測量を利用して、境界の明確化事業を積極的に取り組んでいきたい。

森林は地域・集落の財産でもあると思われ、森林の環境保全について、集落ぐるみで話し合いをしていただき、次世代に財産を引き継ぐ形をつくっていきたい。



答 農林水産課長

進捗状況について平成28年度は鋳物師集落で12haを実施し、29年度からは、金粕集落で15haを実施する予定。境界の明確化事業については、特に森林施業の集約化などによる効果が期待できる山際の約1500haを対象に行いたい。

事業の進め方について、県及び森林組合と調整を行っているが、早い時期に説明会を開催したい。

二、中学生の通学について

問 中学生の通学については、距離や環境・季節等を考慮したうえで、徒歩・自転車・バス等のエリアが決められているものと思われるが、現状に合わなくなってきたりするエリアもあるのではないかと。

また、徒歩・自転車のエリアやバス利用の季節等をどのような基準で決定、実施しているのか、各

地区の現状と、エリア及び季節等を協議して見直すつもりはあるのか伺いたい。

答 教育長

昨今の獣害や不審者の出没が増えている中、少子化の影響で集団による登下校をすることも少なくなってきたり、生徒の心理的負担等は増加しているものと推察している。

児童生徒の安全を第一に考え、道路事情や気象状況などを理由に自転車による通学からスクールバス通学に変更する等、実情に応じた対応を行っている。

今後も、各小中学校に設置している家庭・地域・学校協議会や保護者会並びに集落等からのご意見や要望等を踏まえ、児童生徒の安全や地域の実情を勘案しながら今後適正に見直しを図っていく。



スクールバス



平谷弘子

一、板取宿の観光地化について

問 板取宿は、北国街道の入口として重要な場所であり、現存する茅葺民家は入母屋造りの兜造り型という珍しい屋根である。

特に旧増尾家は国の登録有形文化財に指定されており、これらを歴史遺産として活用しながら観光誘客を図るために、板取宿一帯を総合的に観光エリアとして整備する考えがあるのか伺いたい。

答 町長

現存する4棟が福井県指定の「ふくいの伝統的民家」として認定を受けており、貴重な文化財として適正に保持していくため、平成5年より保全活動の実施を行いながら施設の維持管理、保存に努



今庄板取宿「旧増尾家」

めてきた。

今後、板取宿のエリア一帯の整備と活用についての方向性を決定するため、委員会等の組織を立ち上げたうえで、現在居住する方々のご意見等を聞きながら検討していきたい。

二、本町の男女共同参画について

問 政策等の意思決定過程に女性の参画の拡大推進を実施することが、今後の発展に欠かせない事柄であると国も位置づけている。

しかしながら、本町の意識が低い実態は、各種委員会の男女比に表れており、政策や方針決定の場

に女性が参画しているとは言えない。本町の男女共同参画の現状と各種委員会の女性の登用状況を伺いたい。

答 町長

平成22年4月に施行された「南越前町男女共同参画推進条例」により、「助け合う優しい男と女のまちづくり」を基本理念に男女がお互いを理解し、生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、さらなる男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を計画的に実施する。今年度はすでに男女共同参画講演会を実施しており、今後、推進講座などを予定している。

各委員会等の男女別比

委員会等名称	H29.4.1 現在		計
	男	女	
選挙管理委員会	3	1	4
防災会議	27	1	28
国民保護協議会	27	0	27
男女共同参画審議会	6	4	10
自主放送番組審議会	5	2	7
地域公共交通会議	20	2	22
固定資産評価審査委員会	2	1	3
国民健康保険運営協議会	7	2	9
民生委員推薦会	6	1	7
今庄診療所運営委員会	9	3	12
介護保険運営協議会	6	3	9
児童館運営委員会	7	12	19
要保護児童対策地域協議会	11	3	14
農業委員会	13	1	14
農労災共済運営審査委員会	5	1	6
環境パートナーシップ会議	6	5	11
教育委員会	3	1	4
公民館運営審議会	7	3	10
社会教育委員会	6	5	11
図書館協議会	1	8	9
地方文化財保護審議会	9	0	9
文化会館運営協議会	8	7	15
学校給食運営委員会	5	4	9

答 各課局長
各委員会等の女性登用数は、左記の表のとおりです。



懸垂幕とチラシ

また啓発活動として、本庁及び河野総合事務所に横断幕等を設置、町内量販店での街頭キャンペーンを実施した。今後も引き続き、多方面にわたり支援を継続していく。

一般質問



山本 優

一、空家の活用で人口減少対策

問 今回の「予算」で人口減少対策をどのように進められるのか。

答 町長

宅地造成、子育て支援などの事業として、若い世代の住宅取得に対する補助の拡充、また、桜町・湯尾地区に分譲住宅の造成、さらに南条第二保育所跡地の利用についても地権者と協議を開始する。

問 空き家を活用した人口対策が考えられるが、昨年度からの調査結果を担当課長に伺いたい。

答 建設整備課長

空き家の調査数は428件で聞き取りの結果、賃貸・売買の意向を持つている方は約50名、更に個別の聞き取りと所有者立会で内部調査

を実施し、将来的にはホームページなどで発信していく予定。

問 町内の空き家（古民家）の活用は、資源の有効活用や新築の補助のような町の財政的な負担が少なく有効な方法だと思ふ。住民からの借家、購入のニーズについて伺う。



空家バンクに登録のN氏(甲楽城)宅

答 建設整備課長

町に直接の問い合わせは無いが空き家の利用が決まった時点で周辺道路整備や上下水道工事についての問合せや要望は年に数件ある。ただし、情報の提供は個人情報保護の観点から難しいのが現状である。

問 利用検討する人の現地確認の時、家の中にタンス、特に仏壇、写真など前任人の家財道具処分、部屋の掃除など完了していると話がまとまり易い。前任人の家財道具の撤去、整理、清掃などの補助

について伺う。

答 町長

現在、子育て世帯、移住者への住宅支援補助制度が有り、空き家購入、改修などに上限50万円の補助制度が有りますが、空き家の整理、清掃に対する適用範囲の拡充などについては、県とも協議して、今後検討していく。

二、CATVの光ケーブル化の進捗について

問 CATV民営化後の契約状況と宅内工事の進捗状況について伺う。

答 町長

5月末時点での福井CATVによる宅内工事の進捗状況は、約10%だが、6月から作業体制を倍増する予定と聞いている。

町としても、遅くとも年内にはインターネット加入者と多チャンネルテレビ加入者の宅内工事が完了するよう、福井CATVに対する



CATVの宅内配線作業

働きかけを引き続き行っていく。

問 集落や各種団体、学校行事など町民による取材活動で身近な話題として放送された従来の特派員による取材活動は、今後どのように進められるのか伺いたい。

答 観光まちづくり課長

今後も、町のCATV「レッツマイビデオ」の番組の中で特派員の撮った映像を放送していく予定であり、特派員の方には引き続き集落行事などの取材活動に協力いただきたいと考えている。

意見

毎回熱心に取材し、投稿されているベテランのカメラマンもいますが、身近な集落の行事など町民に見てもらいためには、特派員のすそ野を広げていくことが必要であります。そのための趣味のグループづくりとして、研修や文化団体としての活動を進めるためバックアップの検討を要望します。

主な議会活動報告

四月

18日

福井しあわせ元気国体町実行委員会総会が南条文化会館で開催。

20日

第12回山海里写真コンテスト審査会が南条公民館で開催。

28日

北前船寄港地・船主集落の日本遺産認定記念セレモニーが北前船主の館「右近家」前で開催され、生駒議長ほか議員が出席した。



日本遺産認定記念セレモニー

生駒議長が来賓として出席

▲第12回町男女ネットワーク定期総会が南条文化会館で開催。

22日

▲町民生委員児童委員協議会総会

が南条保健福祉センターで開催。 28日

五月

8日

平成29年度北陸新幹線敦賀開業期成同盟会総会が敦賀市で開催され生駒議長が出席した。

14日

平成29年度県北陸新幹線建設促進同盟会総会が県自治会館で開催され生駒議長が出席した。

16日

国道8号敦賀・南越前バイパス建設促進期成同盟会総会が敦賀市役所で開催され、生駒議長、秋田副議長、平泉産建厚生常任副委員長が出席した。

19日

平成29年度嶺北町村議会議長会総会が越前町役場で開催され、生駒議長が出席した。

任期満了に伴う、役員改正により、会長に生駒議長が就任した。

20日

平成29年度南条小学校体育大会が南条小学校グラウンドで開催さ

れ、丸岡産建厚生常任委員長ほか2名が出席した。

21日

17町民スポーツ祭夏季大会開会式が河野総合事務所で開催され、生駒議長、秋田副議長、坂下総務文教常任委員長が出席した。

22日

平成29年度北陸新幹線「南越駅」設置促進期成同盟会定例総会が武生商工会議所で開催され生駒議長が出席した。

23日

福井県町村監査委員連絡協議会第31回定期総会が福井県自治会館で開催され、小山監査委員が出席した。

25日

県町村議長会臨時総会が福井県自治会館で開催され、生駒議長が出席した。また、任期満了に伴う、役員改正により、会長に生駒議長が就任した。



丹南地区市町議会議長会研修会

26日

丹南地区市町議会議長会総会が南越前町役場で開催され、生駒議長・秋田副議長が出席した。

28日

第30回今庄そばまつりが今庄365スキー場で開催され、生駒議長ほか議員が出席した。

31日～6月1日

平成29年度全国町村議会議長・副議長研修会が東京・中野サンプラザホールで開催され、生駒議長、秋田副議長が出席した。

生駒議長が来賓として出席の活動

▲第26回南越前町今庄観光協会通常総会が今庄商工会で開催。

16日

▲第13回公益社団法人町シルバール人材センター通常総会が南条文化会館で開催。

23日

▲町文化協議会第12回通常総会が南条文化会館で開催。

23日

▲平成29年度町商工会通常総代会が町商工会本所で開催。 24日

六月

1日

平成29年度夜叉ヶ池安全祈願祭が夜叉ヶ池登山口で行われ、丸岡産建厚生常任委員長が出席した。

9日

社会福祉法人ほのぼの苑理事会在同苑で開催され、生駒議長が出席した。

19日

町民生委員・児童委員推薦会が役場別館で開催され、丸岡産建厚生常任委員長が出席した。

24日

第13回南条郡森林組合通常総代会が南条地区公民会で開催され生駒議長・丸岡産建厚生常任委員長が出席した。

29日

国道8号敦賀・南越前バイパス建設期成同盟会による国土交通省近畿地方整備局への要望活動に秋田副議長が出席した。



29日

2017年原水爆禁止平和大行進激励式が南越前町役場で開催され坂下総務文教委常任委員長が出席した。

29日～30日

北信越町村議会

会議長会長会議が長野県野

沢温泉村役場で開催され、県町村

議会会議長会長として生駒議長が出席した。

席した。

生駒議長が来賓として出席の活動

▲第66回県消防操法大会出場に伴う結団式が南越消防組合

南消防署で開催。

7日

七月

1日

「第二十五回はすまつり」オープン式が花はす公園で開催され生駒議長ほか12名が出席した。



2日

町自警消防隊連絡協議会消防操法大会が今庄中部地区農業集落排水処理施設前広場で開催され、生駒議長、坂下総務文教委員長が出席した。



3日

「第67回社会を明るくする運動」推進に係る内閣総理大臣からのメッセージの伝達式が南越前町役場で開催され、生駒議長が出席した。

3日

県議長会町議

会広報研修会が

福井県自治会館

で開催され、生

駒議長が県町村

議長会長として

出席したほか、

山本議会広報特

別委員長ほか5名出席。

6日

福井県丹南広域組合決算監査が越前市役所で開催され、加藤議員が出席した。

7日

福井県市町総合事務組合総会が福井県自治会館で開催、生駒議長が県町村議長会長として出席した。

11日

中日本府県町村議会議長会会長会議が東京都グランドアーク半蔵門で開催され、県町村議会議長会長として生駒議長が出席した。

12日

全国町村議会議長会臨時総会及び全国豪雪地帯町村議会議長会が全国町村議会館で開催さ



れ、県町村議会議長会長として生駒議長が出席した。また、任期満了に伴う改選により全国豪雪地帯町村議会議長会長に生駒議長が就任した。

13日 都道府県会長会が全国町村議員会館で開催され、県町村議会議長会長として生駒議長が出席した。

13日 甲楽城海水浴場で海開き神事式典が開催され、秋田副議長が出席した。



生駒議長が来賓として出席

▲第66回福井県消防操法大会「小型ポンプ操法の部」出場に伴う激励会が河野小学校グラウンドで開催。 18日

5月～7月の主な会合

- 5月19日 全員協議会
- 6月12日、16日 7月21日 議会運営委員会
- 5月16日 6月5日 広報特別委員会
- 6月12日、30日 広報特別委員会
- 6月26日 正副委員長会議
- 7月4日、13日

● ● 議会定例会の流れ ● ●

定例会は、毎年3月、6月、9月、12月に開催、概ね3ヶ月前に議長は議会運営委員会の意見を聞き全員協議会で理事者と相談しながら開催日を決定する。3月以外は会期5日間で実施、議会招集から採決閉会までの流れは、概ね次のとおりです。

閉会	← 本会議	← 全員協議会	← 委員会審議	← 本会議	← 本会議	← 事前準備	会期の決定	理事者と議会が調整して会期を決定
							招集	町長から議会招集の通知を受けて議員へ通知
							日程の調整	議長の諮問に対して議会運営委員会で検討
							議案の提出	町長から議長に議案を提出
							議案の上程、説明	議長が議会に上程した議案を理事者が説明
							(全員協議会)	議案等の説明
							審査を付託	各委員会に詳細審査を付託
							一般質問	町政全般について質問
							各常任委員会で審査	各担当課局長より説明を受けて審議
							討論、採決	議案に対して意見を述べ採決
							特別委員会の開催	議案によっては特別委員会にて集中審議
							報告・審議事項等	追加議案等の説明・日程調整
							委員会報告に対する質疑	各委員会報告に対して質疑・討論・採決
							追加議案の提出	追加議案に対する質疑・討論・採決

広域組合の紹介

公立丹南病院組合議会

当町の医療環境は、車で30分程度の越前市や敦賀市に民間の総合病院が有り、また、福井市まで行くこと県立病院、福井大学病院、福井赤十字病院等があり、更に、町内には、町の診療所や開業医もある。

今から20年ほど前、国から旧国立鯖江病院の移譲にともない、平成12年2月1日、「公立丹南病院組合」として開設されることとなり、当町も運営に参加することとなった。

現在は、合併により所在地の鯖江市と越前市・池田町・南越前町・越前町の2市3町で一部事務組合の公立病院として運営されている。

指定管理者として公益社団法人



地域医療振興協会が管理運営を行っている。当町は、当初より丹南の自治体として参加している。

公立丹南病院は、診療科目も充実しており、その特徴的な面を紹介する。

◆地域医療連携室について

昨年9月より、既存の地域医療連携室に入院支援部門が加わって『地域包括医療推進部地域医療連携室』となり、

医療連携を担当する前方支援、入院する患者への説明や情報収集・ベッドコントールを行う入院支援、地域に帰る患者を支える退院支援の3つの役割を担い、地域の健康に貢献している。

基本方針は、医療機関、介護関連施設と連携・調整して地域の包括的な医療を提供することである。

る。

業務内容は、入院前から地域に帰るまでを包括的に支援することを主な業務とし、その流れは

- 1、紹介患者の受け入れ
- 2、診察・検査の予約受付
- 3、返書報告の徹底
- 4、病床管理
- 5、入院患者への説明・情報収集
- 6、退院時の逆紹介の推進
- 7、医療と介護の連携推進

◆診療科目として

内科、小児科、外科／消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、形成外科、神経内科、麻酔科、救急総合診療科などがある。

◆丹南唯一の「DMAT」

医師、看護師、業務調整員などで構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（概ね48時間以内）に「一人でも多くの命を助けよう」という趣旨のもと活動するために、厚労省指導で専門の訓練を受けた災害派遣医療チームが2チームある。

身近に設置されたことでより初期対応力が持たれている。

◆公立丹南病院組合議会について

一般の行政とは違いますが、構成自治体による一部事務組合で地方自治体の一つの形で、病院の予算決算、条例改廃、業務方針など住民の代用として、十九名の議員で組織され、当議会から三名が参加している。

年二回の定例会のほか、管理者会、構成市町議会代表者会議などで病院の管理に関わっている。

当町からの受診者は、地理的要因から他の市町と比較すると少ないのですが、診療科目によっては多くの方が受診しているので今後丹南地域の医療の要として、活動を続けていただきたいと考えている。

【交通アクセス】

福武線神明駅下車、徒歩6分。
JR鯖江駅よりつつじバスで丹南病院前下車。

表紙説明

第30回 今庄そばまつり

国鉄時代、今庄駅から敦賀駅への道中は急坂越えのため全列車が今庄駅で停車し、補助機関車を連結する等の作業を行っていました。この作業の待ち時間を利用し乗客は「立食いそば」を楽しんでいました。

昭和37年、北陸トンネル開通で、敦賀までの所要時間はずいぶん短縮され便利になりましたが、それとひきかえに今庄駅での「立食いそば」の

需要は無くなりました。それでも、「今庄そば」のブランドは残り、福井駅などで目にします。また米の減反政策により、そばを栽培する人が今も多く見かけます。「今庄そば」のブランドを活かしたイベントとして



昭和63年「今庄そばまつり」が始まり、役場前広場、そば道場の駐車場など会場を変更しながら平成5年から現在の今庄365スキー場に落ち着きました。人集めのため人気歌手の歌謡ショーや有名なパフォーマーのイベントなどを行ってきましたが、数年前からはイベントを目的とするお客さんが集中し国道365号の渋滞を招くこととなり、特別な人は呼ばずに地元グループによる催しものをするようになりました。

手打ちそばをお客さんに楽しんでもらう事が本来の姿かもしれません。今年で30回目を迎えることとなり、5月28日(日)午前9時から今庄365スキー場芝広場には、地元集落やそば打ちの趣味

のグループなど全部で18店舗が出店しました。スタートは水道管の破裂により水が出ないハプニング



があり、開店が予定より1時間ほど遅れましたが、準備したそばが昼前に完売の店が出るほど盛況でした。

各グループは、前日の仕込みはもちろん、打ち立てを賞味していただけため朝3時・4時頃から準備をはじめ、軽トラで会場に運びお客さんを迎えていました。県内外から集まったお客さんは、それぞれ違った味の素朴なそばが味わえ、大変喜んでいました。

他にも、地元ならではの特産品や山菜、海産物を扱う店も出店し、全部で26店舗となりました。

また、今回はそばまつり第30回を記念し、「南越前町おみやげPR展」を開催し当町自慢のおみやげで花を添えました。

ステージではさまざまな催しが行われ、賑わいました。

その内容の紹介は、町内外に張り出された案内ポスターを見てください。

編集後記

毎年、この時期に県内8町議会の広報担当者の研修会が福井で行われ、自分たちの作った議会だよりの診断を受ける機会がありました。この中で厳しい指摘もありましたが少しでも評価されるとまた頑張ろうと力が入ります。

8町の中で唯一たよりを発行していなかった池田町の議会も初お目見えと紹介があり、ページ数は8頁ですが、半年間の準備をされ、充実した紙面に驚きました。

今回は一般質問が3人と少なかったことから「議会活動報告」のページは、写真も説明も十分紙面をとることが出来ました。

岩倉町政となつて半年、6月から8月に掛けて町内の8ヶ所で「まちづくり懇話会」を開催しています。町として直接意見要望を聞くことは大切で、私達議員も日常活動として住民の声に耳を傾けねばと強く感じています。

(広報委員長)